

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

昭和55年7月8日

第13報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanothece clathrata*</i>	600	○	
(藍) <i>Anabaena</i> sp.*	20		
(藍) <i>Phormidium</i> sp.*	80		
(藍) <i>Raphidiopsis</i> sp.*	20		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	400		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	180		
(緑) <i>Dictyosphaerium pulchellum</i>	480		
(緑) <i>Oocystis</i> sp.	80		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	1280	◎	○
(緑) <i>Mougeotia</i> sp.	80		◎
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subprorum</i>	20		
(藍) 藍藻綱	700	21.5	8.5
(黄) 黄緑藻綱	20	0.6	0.6
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	420	12.9	11.9
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	180	5.5	6.0
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	1940	59.5	73.0
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	3260	総体積	5.08E+06
種類数	12	(μm^3)	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし * 印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種

数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から

試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第1優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	1280

第2優占種		細胞数 (細胞数/ml)
藍藻綱	<i>Aphanothece clathrata*</i>	600

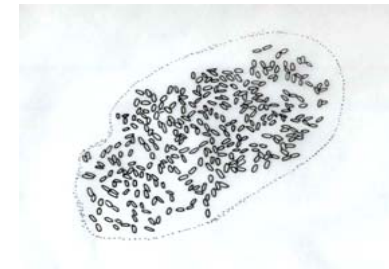
植物プランクトン第1優占種



Pediastrum biwae
(ビワクンショウモ)
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ビワクンショウモと呼ばれている。

植物プランクトン第2優占種



Aphanothece clathrata*
(アフアノテーケ)
藍藻綱

細胞は、長楕円形で長さ3.5~4.5 μm 、幅0.6~0.2 μm 。非常に多数の細胞が寒天質の中に集まり、群体を作る。群体はいろいろな形がある。琵琶湖では北湖で夏秋に多く見られる。